

下記プログラムは子どもの発達段階や特性に応じて柔軟に計画し、実施する。

健康・生活

- ・ 登所時に体調及びコンディションの確認（顔色、発熱、疲れなど）。
- ・ 食事や睡眠リズム、成長に関する情報を保護者から収集。
- ・ 基本的な生活スキルの獲得
- ・ 日常生活で役立つ簡単な家事練習（皿洗い、洗濯物をたたむなど）。

運動・感覚

- ・ 運動プログラムの提供（トランポリンでバランス感覚を鍛える。スポーツ活動を通じて体力向上と協調性を養う）。
- ・ 個別の運動機能に応じた体を動かす活動を計画（例：リズム体操、バランスボール）。
- ・ 運動が苦手な子には、ストレッチや遊びの要素を含んだ無理のない運動を提供。
- ・ 視覚や聴覚、触覚を刺激するゲームを取り入れる。

認知・行動

- ・ 学習する習慣作りや、時間の使い方をサポート。
- ・ 認知機能向上学習を提供する（コグトレやビジョントレーニングなど）。
- ・ 読み書き能力の向上の支援。
- ・ 学習サポート（数や大小から立体への理解）。
- ・ 宿題や学習課題を一緒に取り組み、成功体験を積ませる。
- ・ 個々の学習特性に合わせた教材（視覚支援、タブレットなど）を活用。
- ・ 問題解決能力の向上
- ・ パズルやボードゲームを通じて、論理的思考や計画性を養う。

言語・コミュニケーション

- ・ 伝言ゲームや早口言葉、「あ」の付く言葉集めなど言葉を用いたゲーム
- ・ 好きなことや考え、自己紹介などを発表する
- ・ 読み聞かせ。みんなで感想を話し合う。
- ・ 5W1H ゲーム
- ・ 双方向コミュニケーション
- ・ 今日嬉しかったことや頑張ったことを発表する時間を設ける。
- ・ マカトンの習得

人間関係・社会性

- 社会経験の提供
- 地域との交流や外出支援を通じて社会性を育む。
- 買い物体験や公園遊びを通じて社会スキルを学ぶ。
- 集団活動の実施
- 子ども同士が協力できるプログラム。
- 他者とのやり取りが苦手な場合、少人数での活動からスタート。
- ソーシャルスキルトレーニング（SST）
- あいさつや順番待ち、感情表現の練習を行う。
- トラブルが起きた場合、その状況を振り返り、次の行動を考える。
- 感情表現のサポート
- 子どもが困ったときにどう対処するかを一緒に考える。